

要 望 書

日頃は、奈良市PTA連合会の活動にご協力いただきありがとうございます。
さて、昨年度はコロナ禍において活動ができず、PTAは会の維持運営に努めてまいりました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、活動がでない状況が続いてまいりましたが、ようやく感染状況も落ち着きPTAも活気を取り戻し始めました。
新型コロナウイルスの感染が拡大し、タブレットの早期配布で子どもたちの学びを保障していただき、また、日々の学校生活での感染防止にご尽力いただいておりますことにより感謝申し上げます。



北谷教育長へ要望書を手渡す南條会長

《要望事項》
1. 学校に設置されているエアコンの定期的なメンテナンスの予算をお願いします
奈良市では早くも学校園にエアコンを設置していただき、子どもたちが快適な環境で学習できることに感謝しております。設置していただいたエアコンも2年を経てエアコン内部のカビやほこりが配管されるようになりました。外部やフィルター掃除は通常の清掃業務で対応できますが、内部のカビやほこりの除去は難しい状況にあり、子どもたちに与える影響を心配する保護者の声が上がっています。最近は大丈夫と対応するアルギンを抱えている子どもも多いと聞いております。エアコンの定期的なメンテナンスの予算をお願いします。

2. 通足、校外学習における密集状態回避のためのバスの経費の復活をお願いします
令和2年度は、通足、校外学習における密集状態回避のために、追加で手配するバスの経費を支援していただけています。現在も変わらず通足状態を避けなければならないにもかかわらず、今年度は支援が打ち切られています。保護者の個人負担額が多額になることでPTAに2台目のバス代の補助を学校からお願ひされる事例もあります。コロナ禍で保護者の生活状況が苦しい中、義務教育の個人負担額が増えることのないよう支援の復活をお願いします。

要望への回答(全文掲載)
令和4年2月3日
一、学校に設置されているエアコンの定期的なメンテナンスの予算について
二、通足、校外活動における密集状態回避のためのバスの経費について
(回答・教育総務課)

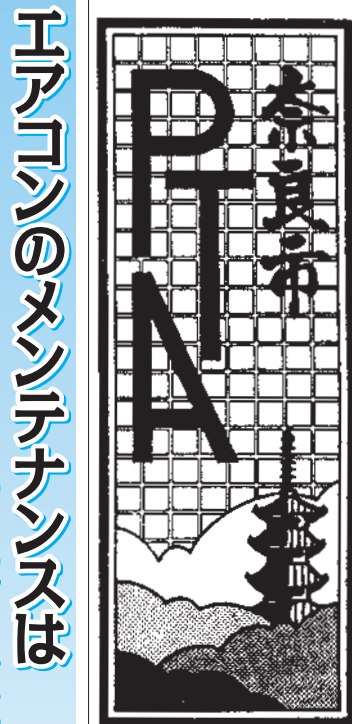
コロナ禍における通足、校外学習等の学校行事については、文部科学省からの通知に基づき実施しております。
令和2年6月4日付の文部科学省事務連絡において、行事の実施に際しては一般社団法人日本旅行業協会によって作成された「旅行関連業における新型コロナウイルス対策ガイドライン」に基づく国内研修旅行の手引き(第一版)等を参考に、旅行事業者等と連携し、新型コロナウイルスの感染対策の徹底に努めることとあります。
この手引きに、輸送機利用上の対策として、「各輸送機間の座席を最大限に作動させ、全員がマスクを着用した前提で一人様につき1席(2人がけ)ずつの座席確保

保て対応することといたします。
との記載があったため、令和2年度は、感染症対策のために追加で手配したバスの経費を公費で負担させていただきました。
手配は随時改定され、令和2年9月1日に出された第三版において輸送機利用上の対策として「貸し切りバスについては、車内の換気機能を最大限に作動させ、マスク着用し、会話を控えめにすることを遵守する事による安全の担保を行い、さらに安心いただける対応として座席の間隔を開ける。およびできる限り乗車人数を減らす等の配慮を必要に応じていたします。
また、公益社団法人日本バス協会の利用者向けリーフレット(令和2年11月29日更新分)のQ&A欄で、「貸切バスの車内は密で危険じゃないの?換気は大丈夫?座席は空けないか?」の問いに「はい、換気は換気が優れているので、常に換気が入ることで、窓を開けなくても約五分で車内の空気を入れ替えます。さらに、常にマスク着用や手指消毒にご協力いただいたうえで、通常通り座席をご利用いただけます」と回答しております。

以上のことから、今年度、バスの増便にかかった費用を公費で負担する予定はありません。
ご要望いただいております、バスの増便にかかった経費を負担してもらえないか、学校からPTAへお願ひをされている件については、Aへお願ひを求めているよう従前より各学校に周知しておりますが、再度周知いたします。

《事業者が守るべき4つのルール》
1 取得・利用
2 保管
3 提供
4 開示請求等への対応
(※)2~4は個人情報データベース化(特定の個人を識別できるようにまとめたもの)した場合にのみ適用されます。なお、これらの個人情報データベース等を構築する個人情報(個人データベース)とは異なります。

声がかかると、PTAの組織改革を特集しました。PTAの本質を見失わず、PTAの望む組織とはどのようなカタチなのでしょう。



令和3年度奈良市PTA連合会要望と回答

令和3年12月24日(金)奈良市役所にて令和3年度奈良市PTA連合会要望書を提出しました。
当日はご公務でお忙しい中、北谷雅人奈良市教育長が要望書を受け取ってくださいました。今年度の要望は令和3年12月8日(水)に開催された第3回理事会で検討し、まとめたものです。要望内容

発行人 南條雅哉
奈良市PTA連合会
奈良市三条本町1-80
TEL 35-6388
編集 市P連広報委員会
印刷所 エムエーグラフィック

CONTENTS

1P
令和3年度 要望書提出と回答
第2回幼稚園部会 『個人情報保護法について理解を深めよう』
コラム『万華鏡』はお休みさせていただきます
2P・3P
特集 『これからのPTAのカタチ』
4P
特集 『これからのPTAのカタチ』
子育て・エトセトラ
編集後記

過度に恐れず 適切に管理・活用を

当日は、「奈良市ましかびドクター」の講師として、奈良市総務課より課長補佐 鈴木光晴様、係長 石田勝也様をお迎えし、個人情報の保護についての基本的な考え方を教えていただきました。
個人情報は、個人情報の権利として、生存する個人に関する情報で、特定の個人を識別することができるものをいいます。氏名、生年月日と氏名の組み合わせ、顔写真などがこれにあたります。取得した個人情報を安全に管理するための手法として、次のことが考えられます。
① 取扱いの基本的なルールを決めて、役員・委員でしっかりと引き継いでいく
② 紙で管理している場合は鍵のかかる引き出しに保管する
③ パソコンのファイルにはパスワードを設定する
④ セキュリティ対策ソフトウェアを導入する。
また、「事業者として守るべき4つのルール」が左記の表にまとめられています。

最近、個人情報であれば何でも「保護」だと、法の定め以上に個人情報の提供を控えてしまう「過剰反応」が見られます。法律を正しく理解し、個人情報を適切に管理しつつ、上手に活用することが大切です。
質疑応答では、次々に手が上がりが、関心の高さがうかがわれました。日頃PTAを運営する中で感じる不安や疑問に、ひとつひとつ丁寧に回答していただき、参加者が解消した「参加してよかった」との声が聞かれました。

これからのPTAのカタチ

鳥見小学校PTA

◆PTAを改革すると聞いた時の率直な感想は?
校長着任と同時に藤田会長が就任され、ポイント制を廃止し、強制をなくした優しいPTAにしたいというビジョンを聞いた。ポイント制ではなく会員の意思を重視した運営をされることに賛同した。教育活動を学校とともに支えるPTA本来の趣旨に沿っていると思う。

◆改革をして一番変わったと思うところは?
常に新しい企画をどんどん考え、実行し、その様子を会員に発信している。「子どもたちのために」という軸がぶれない。地域と協力しながら子どもありきの活動が展開されていると思う。

◆これからの学校とPTAとの関わり方について
学校とPTAと地域の三者が連携し、子どもたちを「地域の宝」として育てていく。鳥見地区では保護者を含め、保護者OBや地域の方が熱心に学校全体を支えてくれている。子どもたちが大きくなって鳥見で育って良かったと思えるような環境をPTA、地域とともに作ってきたいと思う。



奈良市立鳥見小学校 今西 理恵 校長
鳥見小学校PTA 藤田 知恵子 会長

役員、委員歴を管理するポイント制を廃止し、やりたい人がやりたい時にできるボランティア制の新しいPTAへと会則を改定。保護者の意見を取り入れ時代に合った、強制ではないやさしいPTAをめざす。

◆PTAを改革しようと思ったきっかけは?
色々な家族環境がある中、PTAの仕事は「平等、公平に」という仕組みに疑問を持つ保護者がとても多かった。こんな現代社会だからこそ、様々な家庭の事情に寄り添いながら、「できる人ができる時にできること!」の力を求め、優しいPTAにはできないだろうか?と役員全員の意見が一致し、改革に踏み切った。

◆PTAが一番大きく変わったと思うところは?
やはりポイント制をなくしたところが一番大きいと思う。これまでの「ポイントを消化しなければならない」といった強制感がなくなったことで心理的な負担が減り、気軽に参加してもらえていると感じる。
◆会員さんに組織の改革を理解してもらうために工夫とは?
まず、全保護者にアンケートを実施し、PTAの改革についての意見を聞いた。それを元に学校・連合会と協働し、新しい組織に形を変え、説明動画をYouTubeにアップロードし、見てもらった。

◆現在の活動の内容は?
「子ども時代にしかできない経験や学びを提供したい」そんな思いで新たに「学び隊」を発足させた。お手伝いして下さったボランティアの方々や子どもたちには「楽しかった」と好評。また、PTAの様子をブログで紹介している。

◆改革後の会員の反応は?
時々実施するアンケートでは、励ましやお礼、応援の言葉が多数寄せられ、役員一同喜んでいる。優しいPTAへの理解も少しずつ広がっているようで、今年度は新たに9家庭が途中加入して下さった。

◆先生方の反応や学校の協力は?
2年前にこの改革の話をした時に、前任の校長先生からは「敬服します」という言葉をかけていただき、当時の教頭先生も「全力で応援します」と言って下さった。改革後も先生方はお声掛け下さりいつも応援してください。

令和3年度「学び隊」の活動
・eスポーツ講演会
・子どもバザー
・木工教室
・海外ヘラントセルを寄付
・クリスマスオーナメント作り



◆PTAは会社と違って、親どうしが繋がることが目的の一つやもね。
◆お知らせや報告は便利なツールを使って負担を減らしつつ、リアルなつながりは大切にしていきたいね。
◆PTAは会社と違って、親どうしが繋がることが目的の一つやもね。
◆お知らせや報告は便利なツールを使って負担を減らしつつ、リアルなつながりは大切にしていきたいね。
◆PTAは会社と違って、親どうしが繋がることが目的の一つやもね。
◆お知らせや報告は便利なツールを使って負担を減らしつつ、リアルなつながりは大切にしていきたいね。

これからのPTAのカタチ

PTAが任意の団体だということが周知され、各単位PTAでは、会員が無理なく活動できる、時代に合ったPTAにするためにはどうすればいいのかを模索しています。
今号ではPTA本来の目的を重視し、組織を大きく改変した2つのPTAを紹介します。

◆新型コロナウイルスの感染拡大により予定していた臨時総会を開けず、組織改変が1年先延ばしになり苦労した点

役員・運営委員が変わり再度説明をした。その中で、「委員決めの強制感がいや」「くじ引きやあの雰囲気がいや」というように委員決めに對して不満を持っている会員が多かった。委員決めになくす案に対し『委員決めになくして運営委員のなり手がなかったらどうするのか?』といった不安要素もあり、委員決めに對する不満を取り払うのか現状維持にするのかの議論になった。不安な点を書き出し運営委員会で検討していた。

書面での臨時総会后、運営委員に立候補してもらおうエントリー制がどこまで浸透しているのかわからなかったため、『保護者として声を上げる人になってほしい』と知人に声をかけた。『それくらいならいいよ』と引受け受けてくださった人、自ら手を挙げてくださった人も含め18人が運営委員に名乗りをあげてくれた。

◆現在の活動状況(ボランティア募集)

今年は新型コロナウイルスの感染拡大のためボランティアの募集ができていない。

◆学校の先生方の協力は?

校長先生は「全面的に受けるので何でも言ってください」とおっしゃってくださり、できないことに関して理由をきちんと説明して下さる。教頭先生からは保護者との交流は大切だと思っていたのでこの形になってよかったと言っていた。

◆運営委員会はどのように変わったか?

今までの運営委員会は役員からの報告が主体だった。最初は自分が発言していいのかわからないかと思われるのではないかと不安があったようだが、委員から声がかかるようになった。学級懇談会のような雰囲気話ができる。事前のアンケートで学校への要望や質問事項を聞き議案にする。今では委員以外の保護者から「今度これ言ってきて」と頼まれる委員もいる。様々な疑問や問題点を話し合いPTA(学校と保護者)で解決している。

◆会員さんの反応は?

形を変える前と比較して非会員の数は4分の1になった。委員や役員にならなくてもいいのであればPTAに入っていただけののだと実感している。



春日中学校PTA 林 久美 会長

◆校長に着任してからPTA組織が大きく変わったが、一番変わったと感じる部分は?

年度初めに学級委員や運営委員、専門委員を決めずに、必要に応じてエントリー制になったこと。担任の先生の負担感を見逃せなかった。学校の中の形骸化されたものを整理することも含め、PTAの組織改革もしようということになった。まず手始めに、赴任して最初の運営委員会で、会員にオブザーバーとして来てもらい学校のことをもっと知ってもらうためにオープンにできないものかと役員さんに相談した。

◆運営委員会はどのように変わったか?

運営委員会の中のフリートークは、事前にアンケートをとったうえで行いが、学校の説明不足があれば説明し、できないことはなぜできないかを説明できるようになった。フリートークの内容は、例えば…体育館の照明が眩しい時がある、校外学習の集合場所についての懸念、授業参観時の保護者のマナーなど普段保護者が疑問に思っていることや不安に感じていることなどがあがってくる。先生方へはPTAの組織改革の狙いを説明し、必要に応じて、運営委員会で出された意見や保護者の思いを伝え、スピード感をもって、日常の取組に反映するようにしている。

◆このような話し合いの場を続けていくためには?

管理職が変わる時に保護者との話し合いの場の重要性を伝え、引継ぎをきちんとする。方法や枠組みを作ればついていけると考えている。また、PTAの役員や運営委員も残る人がいるので一緒に作り上げていけるのではないかなと思う。

◆これからの学校とPTAとの関わり方

学校を良くしようと同じ方向を向いている保護者の皆様と、子どもを挟んで対等な立場で意見交換をすることで、学校への疑問や不安を解消し、よりよい環境を作っていくと思う。PTAには常日頃『辛口の友人』であってほしいと思っている。運営委員会に一人でも多くの会員の意見が集まれば、さらに双方の理解が進み、子どもたちのために良いことにつながるかと考えている。



奈良市立春日中学校 坂本 静泰 校長

春日中学校PTA

会員の不満、先生方の負担であった年度初めの学級委員決りを廃止し、運営委員をエントリー制に変えた。活動重視ではなくPTA本来の目的である学校と保護者が話し合う場を重視。運営委員会で活発な話し合いが進めば、保護者と学校の相互理解が深まり、子どもたちにとってより良い教育環境が築けると考える。

『PTAのトリセツ』の著者

今関 明子さんと福本 靖先生を取材しました!

『PTAのトリセツ』～保護者と校長の奮闘記～(2019年初版)は…神戸市立本多間中学校でPTA副会長・会長を務めた今関明子さんと福本靖校長先生がPTA改革に取り組んだ奮闘記です。PTAに対して批判的な世論が高まる中、PTA運営委員会で保護者の意見を吸い上げ、学校運営に保護者が参加する仕組みを作りました。保護者の意向が学校の中で反映されるようになると、保護者の当事者意識が高まり活性化されていきました。

保護者が納得することで学校運営がスムーズに

令和3年12月2日(木)福本靖先生が現在校長として着任されている神戸市立桃山台中学校を訪ね、お話をうかがいました。「今後取り組んでいかなければならないコミュニティースクールを、実質的なものにするためには、日頃の保護者との率直な意見交換がベースとなります。学校が新しく取り入れた桃山台独自の(水曜日の5校時授業、3年生の英数習熟度別授業など)についても、運営委員会(役員や委員だけでなく保護者なら誰でも参加できる)で説明し、保護者に納得してもらいました。保護者の理解があるからスムーズに進めることができます。また、保護者の当事者意識が大切で、運営委員会で意見を言うために保護者も勉強するようになります。PTA運営委員会での議事内容(学校で課題となったこと、現在なっていること、今後なりそうなることへの対応について)をコミュニティースクールの運営に反映させます。校長の後ろに運営委員会の意見があるので、地域への説得力となります。保護者が納得することで、学校運営の基本としているのです。」と学校と保護者の関わり方について丁寧に説明してくださいました。

今関明子さんは、現在神戸市学校支援員として活躍中で、この日は支援員の活動で忙しい合間にお会いすることができました。短時間ではありましたが、現在の本多間中学校の様子を伺い、会費を取らず保護者の意見を集約する団体になっていることなどをお話してくださいました。



今関 明子 さん

神戸市立桃山台中学校 福本 靖 校長

◆春日中学校のPTA組織が新しくなったことについてどう思うか?

- ・前の形を知らないで、こんなものかなという感じ
- ・コロナ禍で活動がないので、新しい形になった事への関心が薄い
- ・前より気持ちが楽になった
- ・委員決めの時のピリピリした感じがなくなった
- ・委員になっても絶対出なければいけないというプレッシャーがないのが良い
- ・学校との距離を近く感じるようになった
- ・強制感がなくなった

◆なぜ運営委員になろうと思ったのか?

- ・コロナ禍で参観等もなくなり、委員をすれば学校に来る機会が増えるので
- ・負担なくできるので
- ・友達どうしてできるので
- ・運営委員会のフリートークで気軽に先生と話ができるので
- ・学校のことを気軽に質問できるから
- ・些細なことでも、ママ友と話すような感覚で質問できる
- ・学年関係なく気軽に話ができる
- ・色々強制されないで
- ・この形であればまた委員をやってもいいと思う

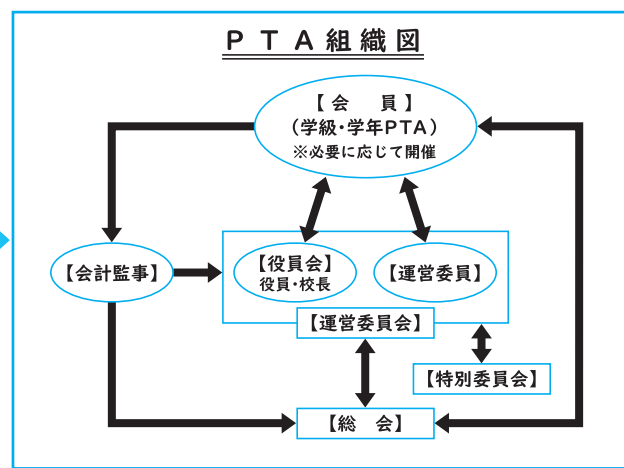
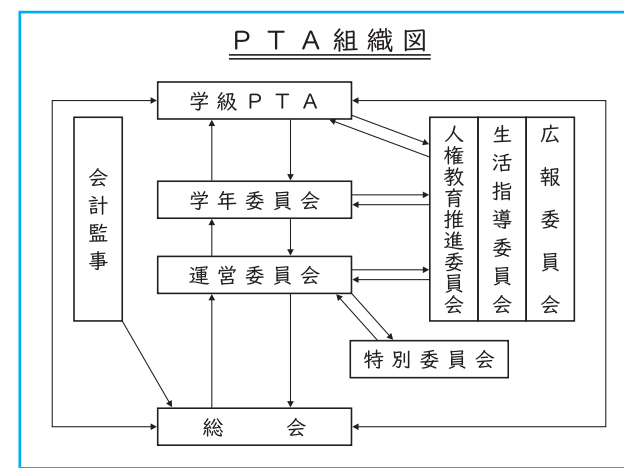
◆フリートークではどのような話が出されるのか?

- ・学校の備品について
- ・門限について
- ・携帯・スマホの使い方について
- ・学校のトイレの水漏れについて
- ・参観や学校行事での保護者のマナーについて



春日中学校PTA 運営委員の皆さん

◆新旧組織図



《新組織の活動に関する事項》

*学 び…保護者としての学びを深めることを目的にした講演会や研修会
*見守り…地域の方々や関係機関、学校と連携し、子どもたちの健やかな成長を願い、子どもが安全に安心して学べる環境作り
*広 報…PTAの活動内容や、会員に必要な情報を伝える

・これらの活動の実施は運営委員会で協議し、議決する
・活動はエントリーシートによって人員を募集することができる